

2020年4月27日

緊急事態宣言を受けての協議会活動状況

御関係者各位

新橋駅東口地区再開発協議会
会長 加藤功時

皆様いかがお過ごしでしょうか？政府及び各自治体の指示に従い自粛に努め未曾有の危機ともいえる「コロナウイルス蔓延」の一日も早い終息にご協力を頂いてますでしょうか？今回のコロナウイルス蔓延は世界の全てを覆いつくし、多くの感染者と死者を出しております。わが国では他国に比べて感染のスピードは遅く感染者も死者も他国に比べ少ないことから、政府および各自治体の自粛要請に対し、国民の間においてはまだ十分な対応が実施されているとは思えません。皆さんご自分の健康と命を守ることを最優先し「ステイホーム」を確実に守りましょう。現在はまだ暗い夜ともいえる状況ですが、必ず明るい朝は来ます。新年の挨拶でも使わせていただきましたが、今こそ日本にいるすべての方が「ONE TEAM」となり、この難局を乗り越えようではありませんか。

さて、再開発協議会の現状ですが昨年末より私どもの再開発のパートナーとなるデベロッパー（不動産会社）の選定作業及び準備組合設立に向けた会員増強活動に注力しておりました。しかしながら今回のコロナウイルス蔓延に関する政府および当地区の所轄であります東京都の自粛要請を受け、加えて各理事及び事務局員等のコロナウイルス感染を回避するため3月末以降の協議会作業を基本的にすべて中断し、理事会や部会もすべて延期といたしました。従いましてデベロッパー選定作業も延期とし、政府及び東京都の新たな指示に従い、今後の各種手続き等日程と各種作業の進め方等を理事会にて決めていこうと考えております。

私ども協議会にとって今年はデベロッパーの選定と準備組合の設立という大きな課題をもって進んでおりますが、この世界的なコロナウイルスの蔓延に際して協議会に必要なことは、皆様の健康と命の維持及び生活の確保を最優先とし、今は再開発の作業を一旦止めてこの未曾有の難局の終焉を待つことだと思っております。それを待って、皆さんと一緒に再開発を再度進めようではありませんか。私の好きな言葉に、「たとえ明日世界が終わるとしても、私は今日リンゴの木を植える」というドイツの宗教学者マルティン・ルターという言葉があります。私は「こういう厳しい時でも希望をもって生きなくてはいけない」と解釈し日々希望をもって前を向いて進みたいと思っております。皆さん共に頑張りましょう。